からと小学校二年こくご「ふきのとう」①学しゅうのすすめかた

1．やりかた…おうちの人とやってみよう。

2．ていしゅつほうほう…つぎ、学校にくるときにもってきてね。

3．じゅんびするもの…きょうかしょ、ふでばこ

4．学しゅうのすすめかた…じゅんばんに、できたらばんごうに　○をつけましょう。

（1）ふゆから　はるに　かわると　どのようなことが　ちがってきますか。
まわりの　木や花のようす、虫やとりなどの生きもののようすなど、ふゆと　はるで　ちがうことを　そうぞうして、おうちの人とはなしてみましょう。

（2）「ふきのとう」という　しょくぶつを　しっていますか。
ふきのとうについてしりましょう。

ふきのとうは　こんな　しょくぶつです。→→→
ふきのとうは、はるが　きたことを　いちばんに
おしえてくれる　しょくぶつです。
ふゆの　あいだは、土の中で　じっとしています。
はるが　きたら「はるですよ。」って、
つぎつぎに　土の中から　かおを　出します。

（3）きょうかしょ13ページの『ふきのとう』という　おはなしに、この「ふきのとう」という　しょくぶつが　出てきます。「ふきのとう」のほかにも　はるを　まつものが　出てきます。つぎのことをおぼえておきましょう。

おはなしに　出てくる人を　**「とうじょうじんぶつ」**と　いいます。
おはなしの中で、**人のように　はなしたり、うごいたり、かんがえたりする生きものやものも、**「とうじょうじんぶつ」と　いいます。

（4）『ふきのとう』には、どんな　とうじょうじんぶつが　出てくるのか　おはなしをよんで　たしかめてみましょう。出てきたとうじょうじんぶつに○をつけましょう。

竹のはっぱ　　ふきのとう　　ゆき　　竹やぶ　　お日さま　　はるかぜ